

シエンプレ株式会社とSEARCHLIGHT株式会社、
マルチプラットフォーム対応のコンテンツモデレーションシステムを共同提供開始
— 総務省事業採択のSEARCHLIGHT社が開発した技術を活用し、
企業のSNSリスクの「広域・深層監視」を実現 —

SEARCHLIGHT株式会社(本社:東京都豊島区、代表取締役:瀬戸亮、以下SEARCHLIGHT)とデジタル・クライシス対策のシエンプレ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:佐々木 寿郎、以下シエンプレ)は、リスク投稿をマルチプラットフォーム横断で監視・分析するコンテンツモデレーションシステムを共同で提供開始しました。

通信環境の進化やSNSの利用率が高まる中、企業のレピュテーションリスクもかつてないほど増大しています。インターネット上には膨大なテキスト・動画コンテンツがあり、従来の「有人監視」では対応することはできません。

SEARCHLIGHTとシエンプレが提供するコンテンツモデレーションシステムでは、24時間365日・大規模・主要動画プラットフォームや新興SNS等のコンテンツを内容レベルで解析し、企業のリスクを検知します。

総務省「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」採択団体であるSEARCHLIGHTの技術による高精度なデータ収集・解析アルゴリズムと、シエンプレのデジタル・クライシス対策における豊富な監視・運用ノウハウを組み合わせることで、一次スクリーニングの自動化+深層分析レポートの提供が可能となりました。

提携の背景・目的

近年、SNSの多様化に伴い、企業のブランド・レピュテーションリスク管理は、以下の三つの課題に直面しています。

1. 監視対象プラットフォームの多様化
X(旧Twitter)、TikTok、YouTube、Threadsなど、監視対象となるプラットフォームが多岐にわたり、網羅的な把握が困難になっています。
2. リソースの限界
有人監視では、24時間365日発生し続ける膨大な投稿や動画のチェックを十分に行うことができません。
3. 動画解析の限界

既存の監視サービスでは、動画のメタデータ分析に留まるケースが多く、動画コンテンツ自体に含まれる不適切発言や問題表現の検知・評価まで踏み込めていないのが現状です。

サービスの特徴

1. マルチプラットフォーム対応
SNSの投稿に含まれるテキストだけでなく、動画コンテンツについても横断的に監視可能です。
2. 高精度なデータ収集・解析
本サービスは、令和7年度 総務省「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」に採択されたSEARCHLIGHTが開発した技術を基盤としており、高精度なデータ収集・解析を実現します。
3. 「有人監視」から「自動監視」への進化
膨大な一次スクリーニング工程を自動化することで、人的リソースをより高度な分析・判断業務に集中させることが可能です。監視体制の効率化と高度化を同時に実現します。
4. 深層分析レポートの提供
 - ネガティブ／ポジティブ判定
 - 動画のサマリー生成
 - 公式情報との乖離・差異の特定
 - ネガティブと判断された具体的理由
(不適切発言、コンプライアンス違反の可能性等)

など、意思決定に直結する分析結果をレポートとして提供します。

今後の展望

当社は、総務省事業で培った技術基盤を最大限に活用し、シエンプレ社と共に情報の健全性を支える新たな社会インフラの構築を目指します。

今後も高度な解析アルゴリズムに磨きをかけ、偽・誤情報や誹謗中傷といったデジタルリスクから企業と社会を守るため、ソリューションの拡充に尽力してまいります。

本件に関するお問い合わせについては、こちらの[フォーム](#)からお願いいたします。